

2005年5月29日

尼崎市議会 議員選挙
候補者 各位 様

特定非営利活動法人
神戸の冬を支える会
理事長 森山 一弘
神戸市中央区中山手通 1-28-7
TEL : 078-271-7248
FAX : 078-271-3252
E-mail : kobe-fuyu@nifty.com

公開質問書

私たち「神戸の冬を支える会」は震災のあった1995年より、野宿生活を余儀なくされている方々の支援活動を行ってきています。当初は神戸市内を活動地域としてきておりましたが、2000年1月からは、尼崎市におきましても週1回の炊き出しを中心に支援活動を行ってきています。また、昨年10月には特定非営利活動法人格を取得し現在に至っております。

2001年8月に制定された「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法(以下、法という)」に基づいて、兵庫県は昨年7月に「兵庫県ホームレスの自立の支援等に関する実施計画」を制定しました。その実施計画に沿って県下の各自治体においてもそれぞれの「実施計画」を策定することになっています。ご承知の通り、尼崎市内で野宿生活を余儀なくされている人たち(以下、野宿者という)は、380人(昨年10月)となっており、兵庫県下の自治体では最大のものとなっております。しかし、残念ながら現在まで尼崎市においては自治体として有効な支援施策がなされてきているとは到底言えません。この野宿者問題の解決のためには、自治体が積極的な取り組みを行う必要があることはいうまでもなく、市会および各市会議員の方々がそのために主導的な役割を果たすことが望まれています。

法に基づいて2002年1月から2月にかけて行われた全国調査の中で、尼崎市の野宿者の概数は323名でした。ところで、尼崎市と人口も都市面積も同規模である千葉県の市川市は同じ調査で野宿者の数は168名と尼崎市の約半数の人数でしたが、今年4月に「市川市ホームレス自立支援実施計画」を策定され、具体的な支援を始められております。市川市と同様の実施計画の策定や支援施策の充実が尼崎市においても可能なものと考えます。

このたびの市会議員選挙にあたり、全候補者の方々にこの公開質問書を送らせていただき、その回答結果を公表し、私たちの仲間が投票行動に活かせるようにと考えております。お忙しいとは思いますが、6月3日までに別紙の質問事項にご回答いただきますようお願いいたします。

質 問 事 項

- 1 野宿者を取り巻く課題についてどのように考えておられるかお答えください
- 2 尼崎市において、野宿者が現在利用できる施策について具体的にお答えください。また、それらの施策についてどのように考えておられるのかお答え下さい
- 3 少年らによって野宿者が襲撃されるといった事件が全国的にも相次いでいます。こういった問題についてどのように考えておられ、今後防止するためにはどのような施策が必要と考えておられるのかお答えください。
- 4 公園などの公共施設でやむなく野宿生活をしなければならない人たちに対して、施設管理者が「立ち退きを求める」といったことが多くあります。誰も好きこのんで公園などで生活しているわけではありません。現行の福祉施策の不十分さが生みだしている結果でもあるのです。ただ単に「立ち退きを求めること」は国際人権規約が禁止している「強制排除」以外のなにものでもありません。こういったことが日常的に行われていることについてどのように考えておられるのかお答えください。
- 5 野宿から抜け出すためにどのような支援策が必要と考えておられるのかお答えください。
- 6 尼崎市において「ホームレスの自立の支援等に関する実施計画」を策定する必要があるとしたらこういった内容の計画を策定するべきと考えておられるのかお答えください。

御氏名		御連絡先	
-----	--	------	--

お忙しいとは思いますが、6月3日までに、ファックスあるいはEメールでご回答頂きますようお願い申し上げます。

Fax : 078-271-3252 (24 時間受付)・E-mail : kobe-fuyu@nifty.com